

中日新聞 2017.4.12

## 野外体験保育に アドバイザーを

### 県派遣先募集

子どもたちに自然に親しんでもらおうと、県は、野外体験保育に取り組む幼稚園や保育所などにアドバイザーを派遣する。二十七日まで、派遣先となる二施設を募集する。

アドバイザーは、菰野町の自然体験教室

「森の風しじん学校」校長の嘉成永慈さんと、紀北町のキャンプ場「キャンプ in 海山」マネジャーの森本真理さんが担当。野外

体験保育の効果や、職員の心掛け、安全管理の注意点や計画の作り方などを、専門知識をふまえて助言する。

対象の施設は、幼稚園や保育所、認定こども園などの法人格があり、山や川、田畠や里山などの野外体験保育の環境が近くにあることが条件。期間は五月から来年二月まで。県少子化対策課の担当者は、「近くにある自然環境を、保育に生かせるチャンス。意欲のある施設にはぜひ応募してほしい」と話す。

4 國県少子化対策課 59 (224) 230